

# RV34xシリーズルータでのLLDPの有効化

## 目的

Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、IEEE 802 Local Area Network ( LAN ; ローカルエリアネットワーク ) 上のネイバーを特定するために使用される、リンク層のベンダーに依存しないプロトコルです。特に有線イーサネットネットワークに使用されます。ネットワークデバイスは、各インターフェイスからIDと機能を一定の間隔でアドバタイズします。

この記事の目的は、RV34xシリーズルータでLLDPを有効にする方法を説明することです。

## 該当するデバイス

- RV34xシリーズ

## [Software Version]

- 1.0.02.16

## LLDP の有効化

ステップ1 : ルータのWebベースのユーティリティにログインし、[System Configuration] > [LLDP]を選択します。



## System Configuration

1

System

Time

Log

Email

User Accounts

User Groups

IP Address Groups

SNMP

2

Discovery-Bonjour

LLDP

ステップ2:LLDPを有効にするには、[Enable LLDP]チェックボックスをオンにします。

# LLDP

LLDP:  Enable

## LLDP Port Setting Table

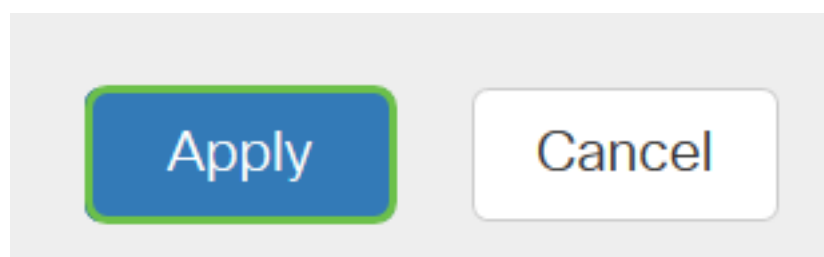
ステップ3:LLDPポート設定テーブルで、必要なインターフェイスまたは該当するインターフェイスごとに[Enable LLDP]チェックボックスをオンにします。

注：この例では、すべてのインターフェイスでLLDPが有効になっています。

LLDP Port Setting Table

Interface ◆	Enable LLDP ◆
LAN1	<input checked="" type="checkbox"/>
LAN2	<input checked="" type="checkbox"/>
LAN3	<input checked="" type="checkbox"/>
LAN4	<input checked="" type="checkbox"/>

ステップ4:[Apply]をクリックします。



- LLDPネイバーテーブルには、次のフィールドが表示されます。
- ローカルポート：ネイバーがデバイスに接続するために使用するイーサネットアダプタ番号を表します。
- Chassis ID Subtype：ネイバーのシャーシIDのタイプ(メディアアクセスコントロール

(MAC)アドレスなど)を表します。

- [Chassis ID] : シャーシのIDを表します。シャーシIDサブタイプがMACアドレスの場合、デバイスのMACアドレスが表示されます。
- Port ID Subtype : ネイバーのポートのタイプを表します。
- [Port ID] : 使用されるポートを表します。
- System Name : ネイバーデバイスの名前を表します。
- [Time to Live]:LLDPアドバタイズメントが更新されるまでの時間 ( 秒 ) を表します。

LLDP Neighbors Setting Table



Local Port ...	Chassis ID Subtype ...	Chassis ID ...	Port ID Subtype ...	Port ID ⇅	System Name ...	Time To Live ...
LAN2	mac	40:a6:e8:e7...	ifname	gi1/0/44	switche7141d	120

ステップ5: ( オプション ) LLDPネイバーテーブルのネイバーの横にあるオプションボタンをクリックし、目のアイコンをクリックして、ネイバーの詳細情報を表示します。

LLDP Neighbors Setting Table

2



1



Local Port ...	Chassis ID Subtype ...	Chassis ID ...	Port ID Subtype ...	Port ID ⇅	System Name ...	Time To Live ...
LAN2	mac	40:a6:e8:e7...	ifname	gi1/0/44	switche7141d	120

ステップ6 : 詳細を表示できます。[OK]をクリックして、LLDPページに戻ります。

---

---

## LLDP Detail

Title	Data
Local Port	LAN2
Chassis ID Subtype	mac
Chassis ID	40:a6:e8:e7:14:1d
Port ID Subtype	ifname
Port ID	gi1/0/44
System Name	switche7141d
Time To Live	120
Port Description	Not
Port Description	Not
System Description	Not received
System Capabilities	Bridge Router
Enabled Capabilities	Bridge Router
Management Address	10.2.0.175



---

OK

これで、RV34xシリーズルータでLLDPが正常に有効になったはずです。